

# ペットと暮らす シニア世代の方へ

♥一緒に長く幸せに暮らすためのヒント♥

ペットとの暮らしは、私たちに幸せをもたらしてくれます。

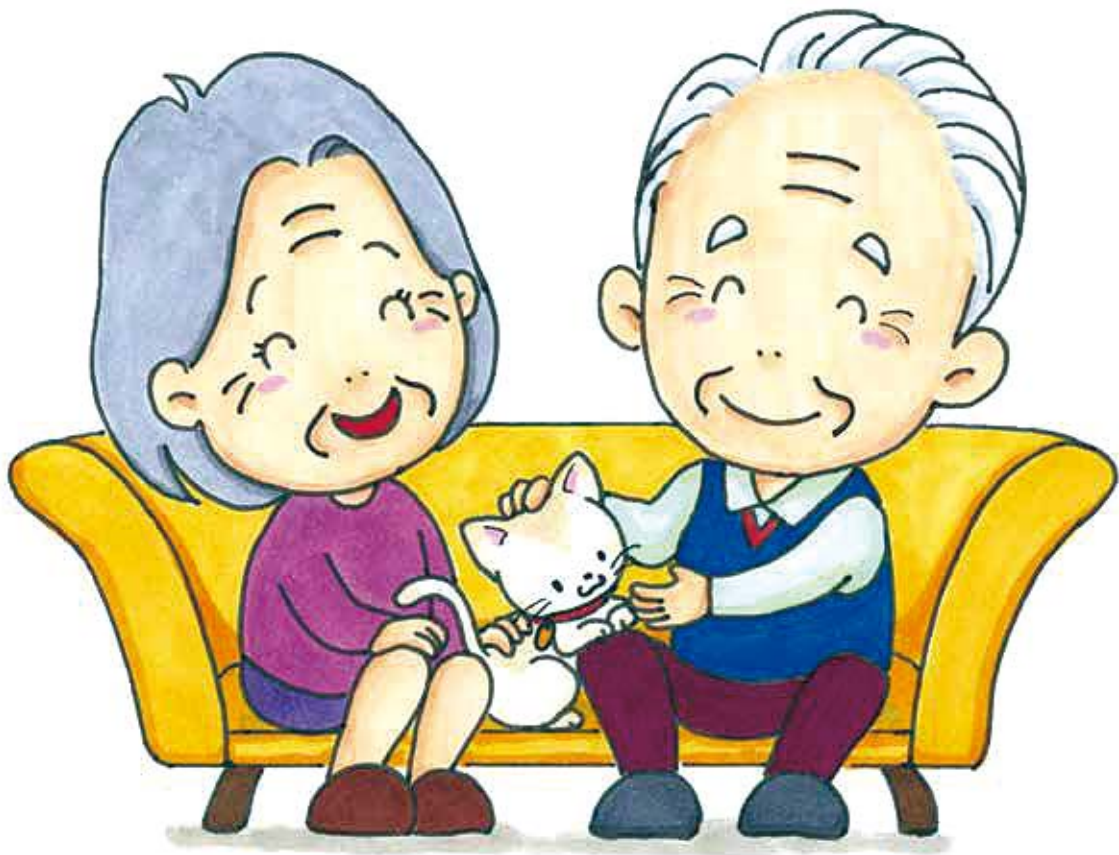
ペットから寄せられる信頼と愛情を感じて幸せな気持ちになれる。

ペットの話題を通して、家庭やご近所での会話が弾む。

散歩仲間など地域とのつながりができる。

ペットのためにも健康でいなきゃ！と気力がわく。

シニア世代になってもペットと楽しく、安心して暮らすために、  
必要なことを考えてみませんか？



## 🐾 はじめに 🐾

ペットの寿命も年々伸び、犬や猫などは、15年以上一緒に暮らしていくこともできるようになりました。

やんちゃで手に負えないくらい元気なペットも、年を追うごとに、目が見えにくくなったり、耳が聞こえにくくなったり、走りまわることがなくなったりするなど、段々と年老いていきます。

ペットの飼い主も年齢を重ねると、次第に生活のスタイルが変化していきます。



ペットも家族の一員です。

自分とペットのこれからを想像し、もしもの時に備えて、日頃からペットのために何ができるのか考えておきましょう。

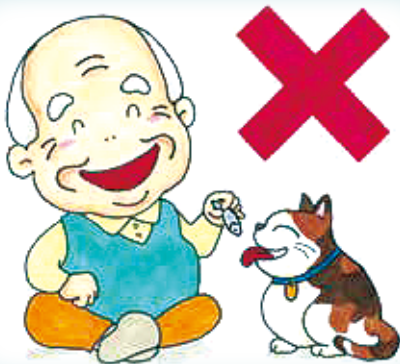
# 🐾 目次 🐾

- ペットの飼い方「イロハの“イ”」・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- シニア世代に起こりうる こんなこと ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- こんな状態になっていませんか？ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 困った時の解決方法
  - その1 民間事業者のサービスなどを利用する ・・・・・・・・ 8
  - その2 一時的な預け先を見つけておく ・・・・・・・・ 9
  - その3 新しい飼い主にゆだねる ・・・・・・・・ 10
  - その4 ペットについて相談する ・・・・・・・・ 12
  - その5 ペットの“万が一”に備える ・・・・・・・・ 13
  - その6 飼い主の“万が一”に備える ・・・・・・・・ 14
- 動物とのふれあい方いろいろ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 終生飼養と飼い主責任 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 巻末データ集 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 相談窓口

## 🐾 ペットの飼い方「イロハの“イ”」 🐾

最後まで責任を持って飼うために、飼い方の基本を再確認しましょう。

- 新鮮な水と、動物種に合ったペットフードを適量与えましょう。
- 散歩や遊びなどで、十分に運動させましょう。運動不足が続くとストレスを感じ、攻撃したり物を壊したりするなどの問題行動をおこすことがあります。
- ペットの数が増えないよう、犬や猫などには不妊去勢手術をしましょう。子宮や卵巣、精巣の病気の予防にもなります。
- かかりつけの動物病院を決め、病気のと看だけだけでなく、定期的にペットの健康診断やワクチン接種などを受けましょう。
- 逃がさないように飼いましょう。万が一に備えてマイクロチップや迷子札をつけておきましょう。
- 災害が発生したときに同行避難できるよう準備をしておきましょう。



ペットを可愛がりすぎて甘やかしていませんか？「甘やかす」と「大切にする」ことは違います。ペットに対し必要なしつけをしないと周囲に迷惑をかけてしまいます。おやつを与えすぎて太らせてしまうと、ペットも心臓病や糖尿病になるリスクが高まります。

### ◆ 犬を飼うときは…

- 散歩の際はかならず引き綱を付け、ふん尿をきちんと処理しましょう。<sup>※1</sup>
- 登録と毎年の狂犬病予防注射を受けさせなければなりません。鑑札<sup>※2</sup>と予防注射済票は首輪などに装着してください。

※1 引き綱を付けない散歩は「東京都動物の愛護及び管理に関する条例」で禁止されています。

※2 「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正により、マイクロチップを装着・登録している場合、自治体によっては、狂犬病予防法上の登録手続が不要となり、マイクロチップが鑑札とみなされます。詳しくはお住まいの区市町村にお問合せください。

